

日本テコンドー協会 試合法

J T A公式戦・組手試合における防具色統一法

2013年4月7日
日本テコンドー協会
理事長 河 明生

日本テコンドー協会（以下、J T A）の公式戦における防具の色を下記の通り統一する。

J T A公式戦は、最高峰の大会・全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会のルールに準じるべきである。
上記大会・組手試合における出場選手は、
男子は手と足の防具を、女子はそれに加えてヘッドギアの色を赤または青で統一した。
これはJ T Aのみならず、オリンピック正式種目となっているW T Fも採用している基準である。

その趣旨は、

第一に、ジャッジの正確性を担保するためのもの

であり、

第二に、選手を異なる色にわけて競わせることで視覚的効果をはかり競技の魅力を高めるためのもの
であろう。

ところが、地方大会においては、たとえば、

青いヘッドギアを着用している選手が、赤い手・足の防具を着用し、また逆の場合も見受けられる。

酷い者は、青いヘッドギアを着用し、手は赤い防具を着用し、足は青い防具を着用することもあった。

恐るべき者は、I T F時代に、4色使う者もいた。

これでは、審判員が混乱し、正確なジャッジに支障をきたす。

また、視覚的効果をはかり競技の魅力を高めることはできない。

さらには、美を追究しているJ T Aテコンドーの品位を保つことができない。

ここに、J T A試合法「J T A公式戦・組手試合における防具色統一法」を定める。

第1条 J T A公式戦組手試合における防具の公認色

1, 公認する防具の色は、青および赤の二色に限る。

2, 使用禁止の色

① 青または赤以外の防具の使用を一切禁止する。

② メーカー等のマーク等のついた防具の使用を一切禁止する。

第2条 J T A公式戦組手試合における防具の色の基準

J T A公式戦は、全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会の男子組手を除き、死亡事故等を防止するためヘッドギアの着用を義務づけている。

そこで手・足の防具は、ヘッドギアの色を基準とし、選手自身が合わせることを義務とする。

たとえば、大会主催者・コート運営責任者から、青いヘッドギアの着用を指示された選手は、手および足には、青の防具を着用しなければならない。

第3条 その他

1, 上記の基準を満たした防具を所持していない者は、J T A公式試合への参加を禁じる。

2, 「防具シェア」の奨励

①青または赤の公認防具を所持している選手は、別途、青または赤の防具を購入する必要はない。

②「防具シェア」を奨励する。

たとえば、青の手・足防具を有している選手Aは、赤の手・足防具を有している選手Bと事前に、お互いが必要な時にそれぞれ使用できるよう「紳士協定」を結べば事足りる。

③「防具シェア」の趣旨

最近の若い人々は、
機械化の悪影響により、「紳士協定に基づく助け合う精神」や「頭を下げる謙虚な姿勢」等の
対人関係能力が著しく低下していると言われている。
これは孤独の端緒となる。

JTAテコンドーは武道教育を標榜しており、若い門人・会員の対人関係能力の向上も、
JTAの活動を通じて高めるべきであると考えている。

しかし、クラブの指導者や古参が、「防具シェア」を調整しては、意味がない。

若い門人・会員自身が、率先して「防具シェア」をはかり、
「紳士協定に基づく助け合う精神」や「頭を下げる謙虚な姿勢」等の対人関係能力を高めて頂きたい。

本法は、2013年4月より施行する。